

ユニバーサル体験旅行

◎開催日：平成30年9月23日（日）

◎場所：伊予灘ものがたり

朝起きると曇り空で雨が降らないようなので安心しました。8時前に出発して、石鎚パークエリアに9時30分ごろに到着。昼ごはんが1時半ごろと聞いて腹ごしらえ。僕は、タコ焼きとおにぎりソフトクリームともちを食べてこれでお弁当まで大丈夫。伊予灘ものがたりに乗って、まず初めにアテンダントのお姉さんのきれいなのにびっくりしました。おもてなしも良かったです。1号車は茜の章・2号車は黄金の章、僕は赤色の1号車に乗りました。中は広々としてきれいでした。美味しい食事を食べながら『ゆっくりゆっくり』列車の旅は気持ちよく、青空の雲も高くのんびりしていました。沿線の人たちが歓迎してくれて気持ちが『ほっこり』しました。肱川（ひじかわ）がきらきら輝いていました。恋人の聖地の夕日が見られなかったのは残念でした。実行委員のみな様、お世話して下さいました。楽しい旅行でした。また、来年も行きたいです。

福居 圭一



ユニバーサル体験旅行に今回ボランティアで参加しました。参加者31人で松山駅発八幡浜駅着「伊予灘ものがたり」に乗って、優雅でのんびりとした時間をすごしてきました。

松山駅を出発する時には、ホームにいるみなさんが手を振ってお見送りしてくれました。

少し遅めの昼食をとりながら、窓から見える伊予灘をながめていました。ちょうど窓枠が絵画の額縁のように見えて、素晴らしい絵画を見ているみたいでした。

「下灘駅」では、「紅の豚」さんがお出迎えしてくれて、列車の中で写真撮影もしてくれました。

「五郎駅」では、たぬき駅長、こだぬきの着ぐるみの子どもたちにお出迎えされました。沿線では、テニスの部活中の子どもたちが手を振ってくれたり、田んぼにいたおばちゃんが、手を振ってくれました。ガソリンスタンドでは、店員さんやお客さんも一緒に手を振ってお出迎えしてくれました。

「みんなに温かく出迎えてもらえて、次は家族のみんなと乗りたい」と参加された方々が言われていました。

約2時間の列車の旅でしたが、この感動を今回参加できなかったみなさんにも味わってほしいものです。

三好 克己

88 遍路ウォークに参加して

暑くもなく、うす曇り。数としては8名ですが、ウォーキングに参加出来たのは5名。

毎年のように最後尾で歩き始める。大窪寺近くの、最後のお登り坂は、筋力の衰えを感じられる体力検査場の感…あり。昨年同様にボランティアの方のお喋りも出来ました。お猿さんにも会いました。挨拶と笑顔ありの沢山のお接待を今回も頂きました。高岡



ちょっと一息お茶をどうぞ

♡思うがまま・・・に♡文字を並べ♡

今年の夏はとても暑い日が続きましたね。皆さんお元気にお過ごしでしょうか。

私、老体にムチって、今年も息子が通う園の『唐辛子畑』の水やりや草抜き等の手伝いをしました。昨年とは違い、本当に暑かったです。肌を刺すような痛い日差しでした。アイスクリームを沢山食べた夏でもありました。台風も本当に強烈でした。テレビニュースでは、生木の杉が、土砂崩れではなく、強風で倒された光景を映し出しています。自然の怖さを感じます。雨の降り方も今までとは違う感じです。強風に豪雨。これも、オゾン層破壊による温暖化？のひとつ？砂漠化してしまった我が家の花壇。花たちも、根焼けしてしまい沢山枯れてしまいました。テレビ等で聞く砂漠化の話・・・実感です。秋に『寒桜ではなく、春に咲く染井吉野が何処かの公園で咲いた・・・』そんなニュースも有りました。俗に言う狂い咲き。これも猛暑や巨大化台風の影響でしょうか。『日本が世界に誇れる美しい春夏秋冬・・・何処へ行ってしまうのでしょうか。』初秋に何かさみしさを感じた私です。

新聞担当 高岡

編集後記

もう、あっという間に年末です！来年の新元号は何になるのでしょうか！今年の流行語は「そだね～」でした。個人的に今年嬉しかったのは、先日の運動会での準備体操でも使用された DA PUMP（ダンプ）の「U.S.A.」が流行したことです。楽しい曲が流行すると気分が明るくなりますよね。「U.S.A.」は、アメリカあるあるみたいな歌詞ですが、替え歌で、香川県バージョンをつくってもおもしろそうです。「カモンベイビーかがわ～～、年越しも年明けもうどん！」、「カモンベイビーかがわ～～、コンビニよりうどん屋多い！」。うどんネタが多くなりそうですね（笑）

今年も会員の皆様の「さら新聞」へのご協力ありがとうございました。来年もよろしく願いいたします。

光吉

さらスポーツクラブが目指しているもの

全ての人(子どもから高齢者に至るまで、障がいの有無に関わらず)が能力に関わらず生涯に渡り、気軽にスポーツ文化活動に携われる環境の場を提供すること、また世代や障がいの枠を越えた交流を通じて相互理解を深めることにより、つながりを持ちお互いの可能性を広げることを目的としています。

ご意見・ご感想： ☎087-813-5016 E-mail sara.takamatu@nifty.com

発行責任者： 高岡憲美・光吉直哉・中田賢二

